

知床半島

Shiretoko peninsula

歩いている。
石川直樹は
ただ、ただ、歩いている。

石川直樹写真展
Naoki Ishikawa photo exhibition

2026.2/27(金) - 3/1(日)

ゆめホール 知床 <入場無料> 9:00am-10:00pm

歩いている。石川直樹はただ、ただ、歩いている。

2024年10月、チベットにあるシジャパンマに登頂し、世界に14座ある8,000メートル峰のすべてに登頂した写真家・石川直樹。知床のある北海道斜里町との縁は深く、2001年頃からたびたび知床を訪れています。2015年から斜里町が進めている地域ブランディングのブランドブック「SHIRETOKO! SUSTAINABLE 海と、森と、人。」の編集長を務め、2016年、閉校となった朱円小学校の「最後の卒業アルバム」をつくるプロジェクトや、新しく多様な知床のイメージを地域住民と探す「写真ゼロ番地 知床」を主催するなど、その活動は多岐にわたっています。今回、石川直樹さんが歩き、出会い、そのまなざしが捉えた知床を、あらためてご紹介する写真展を開催します。写真好き・知床好きはもちろん、ふだん写真を撮られない方にも、知床についてあまり意識されていない方にも「新たな発見」のある展示になると思います。トークイベントなども開催予定です。この機会にぜひ知床へ足をお運びください。

2026.2/27(金) - 3/1(日)

9:00am-10:00pm

*8:00pm以降、閉館する場合があります

入場無料 / 共催: 斜里町・写真ゼロ番地 知床

協力: 一般社団法人 知床しゃり、

公益財団法人 知床財団、

NPO法人 知床斜里町観光協会

お問い合わせ:

junhatsuumi@shiretokobranding.org

080-2307-4638 (担当:初海)

※トークイベント等、同時開催予定。

詳細は写真ゼロ番地 知床の公式サイトで
発表していきます。

※天候含む諸事情により、

内容に変更または

閉館の場合があります。



公式サイト



石川直樹

1977年東京都生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。2008年「NEW DIMENSION」(赤々舎)、「POLAR」(リトルモア)により日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞。2011年「CORONA」(青土社)により土門拳賞。2020年「EVEREST」(CCCメディアハウス)、「まればと」(小学館)により日本写真協会賞作家賞。2023年東川賞特別作家賞。2024年紺綬褒章を受賞した。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した「最後の冒険家」(集英社)、「地上に星座をつくる」(新潮社)ほか多数。主な個展に「Vette di Luce. Naoki Ishikawa sulle Alpi Orobic」アカデミア・カッラーラ美術館(イタリア 2023)、「JAPONÉSIA」ジャパンハウス サンパウロ、オスカー・ニーマイヤー美術館(ブラジル 2020-2021)、「この星の光の地図を写す」水戸芸術館、新潟市美術館、市原湖畔美術館、高知県立美術館、北九州市立美術館、東京オペラシティアートギャラリー(2016-2019)、「K2」CHANELNEXUS HALL(東京/2015)、「ARCHIPELAGO」沖縄県立美術館(沖縄/2010)など。作品は、東京都現代美術館、東京都写真美術館、横浜美術館、沖縄県立美術館等に収蔵されている。最新刊に「最後の山」(新潮社)、「シジャパンマ」(平凡社)など。



石川直樹写真展
Naoki Ishikawa photo exhibition

知床半島
Shiretoko peninsula



ゆめホール知床・公民館ホール Yume Hall Shiretoko

〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町4番地 TEL.0152-22-2222

Honmachi 4, Shari-cho, Shari-gun, Hokkaido 099-4113 TEL: +81-152-22-2222